



市民 登場

No.694

80歳で9つの陸上記録を持つ

馬淵 弘子さん

身長155cmで細身な体は、マスターズ世界大会に出場する他の外国人選手に比べるとずいぶん小柄だ。それでも勝てる理由を「強いて言えば集中力でしょうか」と話す。11年間で出場した67試合全ての結果を書き留めているノートの片隅には「無我夢中」の文字が刻まれている。「勝ち負けより身体を動かすことが純粋に楽しい」。

生まれは岐阜県で、高校では陸上部に所属。走り高跳びは得意種目で県大会にも出場した。22歳で結婚。6年後、東京オリンピックで沸いた昭和39年に枚方へ転居し、2人の子どもを育

◆まぶちひろこ 昨年11月、オーストラリアでの陸上マスターズ世界大会80歳～84歳走り高跳びで、自らの日本記録を更新し、優勝。5月に市民スポーツ賞を受賞した。81歳。

てた。忙しい日常の中「陸上のことを考えることはなかったですね」。60歳を過ぎた頃から義母を介護する日々が始まった。大阪市内へ行き来し、その後の在宅介護も含めて十数年に及んだ。「心と身体のリフレッシュに興味を探しました」。弓道や乗馬、卓球、そして71歳の春に高校以来となる陸上に再び挑み始めた。「指導者もなく自己流でした」。そんな中、世界大会の投てきで銀メダルを獲った松本善一さんと出会う。「5つも年上なのに記録を伸ばそうと黙々と陸上に励む姿に心打たれました」。競技会を見に行ったりテレビに映る試合から技術を吸収したりと、トレーニングに励み、陸上を再開して3カ月後の全国大会70歳～74歳の部で1m15を跳び日本記録を樹立。ハードルや三段跳び、でも記録を塗り替えた。じん帯損傷という大ケガを負ったときもリハビリを続け、1年後の全国大会で3種目優勝。「陸上は生きる喜び。絶対に続けたかった」。

80歳を迎えた昨年は腰の難病に悩まされ決して万全の状態ではなかったが、世界大会では念願の優勝を手にした。次の目標は七種競技での日本記録。「無理なく続けていけるように努力していきたいです」。

クイズ de 広報

答えは広報の中！

抽選で3人にくらわんこグッズが当たる！

問題

昨年4月に選択制ランチボックス方式でスタートしPR動画の配信も始まった「中学校〇〇」。〇〇に入る言葉は？

- ① 給食 ② 夕食 ③ 朝食

▶応募方法 市ホームページの応募フォームまたははがき、電子メール、ファクスに住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号、クイズの答え、広報ひらかたの感想を書いて市広報課（〒573-8666）へ。7月14日必着。1人1通。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。 ☎広報課 ☎841・1258、 ☎846・5341、 ✉kouhou@city.hirakata.osaka.jp

先月の答え
③ 婚姻届